※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3016

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	基礎国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント　など						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、表現を適切に理解するだけでなく、自らの考えや意見を表現する活動を行います。
・話すこと／聞くこと、読むこと、書くことの基本を身に付けるために、漢字や言葉の学習をしたり、さまざまな種類の文章を読んだりします。
・文章を理解するためには、漢字や言葉の知識は欠かせません。小中学校で習った言葉の復習や新しく習った言葉を積極的に習得してください。

２　学習の到達目標

・国語を的確に理解し、適切に表現するために必要な知識、技能を身につける。
・言語に対する関心を高め、言語感覚を磨き、国語の力の向上を図る。
・小中学校で習う漢字や言葉の学びなおしを目的とし、高校での学習活動の礎を形成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	小中学校で学ぶ社会生活に必要な漢字や言葉を身に付け、活用しようとする。	場面に応じた言葉を選び取ったり、相手に適切に伝わるように言葉を選んだりできるようにする。また、適切に漢字を用いて表現することができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって他者とのコミュニケーションで不都合が生じないようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
考査Ⅰ	漢字や言葉との出会い ［教材］ 自作プリント	a:常用漢字を理解し、読み書きできるようにする。語句の量を増やし、語彙力を高める b[書]:常用漢字を文や文章の中で表現する。 c:進んで表現を考え、言葉の豊かさを味わおうとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート パフォーマンス課題
考査Ⅱ	日常生活の中の表現 ［教材］ 自作プリント	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[話／聞]:相手や目的、場面に応じた言葉遣いを理解し、適切に表現する。 c:話し言葉、書き言葉、敬語について理解し、場面に応じた話し方をしようとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
考査Ⅲ	論理的文章に親しむ ［教材］ 自作プリント	a:語句の量を増やし、語彙を豊にする。 b[読]:話の展開と内容を押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 c:積極的に論理的文章を読み、叙述に基づいて機知の内容を説明しようとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート パフォーマンス課題
考査Ⅳ	文学的文章に親しむ ［教材］ 自作プリント	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 c:段落構成や展開を積極的に把握し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
考査Ⅴ	表現活動 ［教材］ 自作プリント	a:表記・表現の基本ルールを理解する b[書]:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類・構成・展開などの表現の仕方を工夫する。 c:効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１５　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間